

平成27年度第1回鶴岡市障害者施策推進協議会

会議録

日時	平成28年2月24日(水) 13:30~15:30
場所	第3学区コミュニティセンター 大ホール
出席者	別紙のとおり
記録者	福祉課障害福祉係

1. 開会 司会進行：福祉課障害福祉係

2. 挨拶 櫻井好和会長
相澤康夫健康福祉部長

3. 協議 司会進行：櫻井好和会長

(1) 障害者差別解消法の対応について

《質疑・意見》

委員：障害者差別解消法の支援協議会について、市は任意設置であり、新設の協議会については県の状況を見ながら判断することとしていますが、現在整備中の新文化会館における障害者への合理的配慮は重要な課題であるため、是非、協議会を設置していただきたい。

事務局：協議会についての国の基本方針によれば、障害者差別の解消を効果的に推進するためには、例えば、各自の役割に応じた事案解決のための取り組みや類似事案の発生防止の取組が必要で、そのために、協議会を設置することが望ましいものとしています。

鶴岡市としては、新たに設置する協議会については検討するものとしていますが、現在ある障害者施策推進協議会や高齢者虐待防止等協議会等において、必要に応じて関係機関に同席してもらうなどの対応で、情報の共有と協議をすすめてまいりたいと考えています。

委員：グループホームやサービス事業所を新たに設置する場合に、産廃施設のように地域の同意を得ることが条件とされていますが、差別解消法の法律施行によってそのような条件を付すことはなくなるものと期待されますが、如何か。

事務局：ご質問の件については、国でも検討しているところです。現在は、新たに事業所等を設置する際には、地域の同意が得られているかの確認が求められていますが、市町村が同席して説明会を開催するというような配慮をするよう国からの通知があるものです。

事務局補足「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律案に対する附帯決議」

五 国及び地方公共団体において、グループホームやケアホーム等を含む、

障害者関連施設の認可等に際して周辺住民の同意を求めないことを徹底するとともに、住民の理解を得るために積極的な啓発活動を行うこと。

委員：差別解消法の施行が意外と知られていない。広報掲載だけでなく、各施設にポスターを貼るなどの必要があると思いますが。

事務局：対応可能ですので、障害者のみなさんが直接かかわっている障害福祉サービス事業所にパンフレットやポスター等をお配りさせていただきたいと思います。

(2) 第4期 障害者福祉計画の進捗状況について

《質疑・意見》

会長：平成27年度にまでの間に目標が達成しているところもあるので、成果目標値の変更ということでの提案をふまえご意見をいただきます。

委員：就労に関して、就労継続支援A型は雇用率の算定に入るが、一般就労には入りません。就労継続支援A型に移行した方を含めずに一般就労にこれだけ移行された方がいるということによろしいか。

事務局：はい。

委員：アンケートの中にも就労継続支援B型から一般就労への移行は難しいという意見もありますが、一般就労に移行された方の多くは、就労移行支援事業の利用者、または就労継続支援A型の利用者という解釈によろしいか。また、就労継続支援B型から一般就労に移行されたケースはご存知か。

事務局：若干ですがB型からの移行もございます。

委員：福祉的就労と一般就労の垣根があるというお話もありましたが、実際にこれは難しいですが、就労継続支援B型事業利用の方も移行できると本当の一般就労への移行と言えるものと考えていたので質問としました。

委員：全国的な傾向であるが、市においても保育園等や放課後児童クラブで障害児を受け入れる割合が高まっているので、後方支援を充実していくためにも「児童発達支援センター」を早期に整備する必要があると思われる。

事務局：第4期障害福祉計画にありますとおり、児童発達支援センターの整備については検討をすすめるとしており、現在、子どもの発達支援にかかる庁内での関係課連絡会において協議を進めています。また、後方支援として、障害者地域自立支援協議会のこども部会においても放課後児童クラブや児童館との研修会等を進めているところです。このご意見はこれらの協議や活動に反映させていただきたいと思っています。

会長：第4期障害福祉計画の数値目標につきましては、原案のとおり修正し、ご意見についてはこのような状況のなかで活かしていきたいと思います。

以上

鶴岡市障害者施策推進協議会委員名簿（平成26・27年度）

	所 属	職 名 等	氏名	出欠
第1号 学識 経験者	東北公益文科大学	教授	澤 邊 みさ子	出
	(社) 鶴岡地区医師会	おのこども診療所	小 野 俊 孝	出
	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会	事務局長	菅 原 淳	出
	鶴岡市民生児童委員協議会連合会	会 長	三 浦 辰 雄	欠
	元 NPO 法人庄内アインシュタインの会	理事長	宅 井 き く	欠
	知的障害者相談員	相談員	神 保 康 子	出
第2号 関 係 行 政 機 関	県立鶴岡病院	院 長	神 田 秀 人	欠
	総合療育訓練センター庄内支所	次 長	鈴 木 哲	出
	県立鶴岡養護学校	校 長	岡 崎 祐 治	出
	県立鶴岡高等養護学校	校 長	早 川 隆	欠
	鶴岡公共職業安定所	統括職業指導官	小 野 尚 也	出
	庄内総合支庁地域保健福祉課	課長	高 橋 博 美	代理 出席
	庄内児童相談所	相談判定専門員	佐 藤 真 司	代理 出席
第3号 障 害 者	鶴岡市身体障害者福祉団体連合会	会 長	佐 藤 満 子	出
	鶴岡手をつなぐ親の会	会 長	橋 本 廣 美	出
	温海手をつなぐ育成会	会 長	佐々木 秀 雄	出
	障害福祉サービス利用者	すまいるらんど	金 子 大 介	欠
	障害福祉サービス利用者	やまびこ	若 松 寿 夫	出

第 4 号 関 係 事 業 者	社会福祉法人 恵泉会	理事長	櫻井 好和	出
	鶴岡地区障害者通所施設協議会	会 長	高橋 一夫	出
	障害者支援施設 鶴峰園	園 長	高橋 栄一	欠
	障がい者地域生活支援センター「翔」	所 長	齋藤 昌子	出
	社会福祉法人 月山福祉会	理事長	石川 一郎	出